

沼津市総合計画審議会 部会における意見のまとめ

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応
	全般	市民に浸透する書き方、構成が望ましい（ダイジェスト版を作成する、市民だよりなどの広報で分かりやすく説明する、などでもよいと思う。） 中学生・高校生の社会科等の教材にするなど、10年後、20年後の沼津市を担う当事者意識を醸成するための計画になると良い。	市民や学生、子どもに伝わりやすいデザインとなるよう、冊子作製の際に留意するとともに、ダイジェスト版の作成も行いたいと考えている。	
		SDGs17の目標、Society5.0、BCPの策定など、まだ一般的に馴染みがないと思われる表現について、欄外、又は※でコメントしてはどうか。	他の箇所も含め、市民に分かりやすくするため、用語に関する注釈を記載する。	
		・総合計画の文章で示せない背景にある議論や取組をコラムで紹介するなど、市民へどう伝えるかが、重要である。 ・策定にあたり、込めた思いや検討した取組なども文章にすると集約されてしまい、全てを表現することはできない。市民が細かい部分まで知る機会や子供たちが自分たちでまちの魅力に気づく機会を作してほしい。総合計画を教材として小学校へ配布してほしい。 ・それぞれの施策の関連性を示した索引があると読みやすい。 ・全体の施策の関連性を網羅した因果関係図を作成してほしい。	分かりやすい記載や周知手法について、検討する。	
		市民会議やワークショップを経て、市民の意見を取り入れたこと、審議会委員にも公募で市民が参加していること、パブリックコメントを募集したことなど、総合計画の策定過程にどのように市民の意見を取り入れているのか、具体的に記載してはどうか。	総合計画としての冊子には、資料として策定に至るまでの会議や市民意見の反映等の実施経緯を記載したいと考えている。議決を受ける基本構想案への記載がふさわしいかは検討する。	

第1章 総合計画の概要（合同部会）

P2	2 総合計画の性格と特徴	説明は内容に踏み込んだ記載であり、一般的な総合計画の特徴より今回の第5次総合計画の特徴のように感じる。	今回の第5次総合計画の特徴であり、意識して策定したいと考えている。	性格と特徴を分けて分かりやすく表記する。
P2	2 総合計画の性格と特徴 (2)②	「それぞれの絆を強め」の表現について、絆の表現は必ずしもプラス面のイメージだけではないため、「お互いの連携を強め」などに修正してはどうか。	指摘を踏まえて修正を検討する。	「相互に連携を深め」に修正する。

第2章 まちづくりの基本理念（合同部会）

P4	基本理念 イメージ図	各理念の説明書きにおいて「～まちを実現します」の結びであると、将来像に近い感じを受ける。基本姿勢であれば「挑戦していく」などの表現が望ましい。	指摘を踏まえて修正を検討する。	表現を「～する」に改める。
P4	基本理念 イメージ図	理念の下の英語表記については、確認がなされているか。名詞形と動詞形、形容詞形などが混在しており、名詞形で統一してはどうか。	指摘を踏まえて修正を検討する。	英語表記は名詞形で統一する。
P5	「動き出す 創り出す」	「創り出す」は良いが「動き出す」は、今まで動いていなかったことになる。新たなステップを踏み出すというようなニュアンスのある言葉が望ましい。	まちづくりの動きが目に見えてくることから、市民に伝わるイメージとして「(まちが)動き出す」イメージを発信したいと考えている。	「新たな都市骨格の具現化が進み、…」に修正する。
P5	「誇りとつながり」	”人を育てる”、”子どもが育つ”といった視点での表記が欲しいと思う	指摘を踏まえ修正を検討する。	「地域の魅力を更に高め、未来を担う人を育てていく。このような…」に修正する。
P5	「心も体も元気で健康」	「子どもから高齢者まで誰もが」への修正に加えて、その前に「性別を問わず」を入れて欲しい。 「居場所づくり」だけでなく「活動する機会」も加えて欲しい。	指摘を踏まえ修正を検討する。	「性別を問わず」、「機会」を加える。
P5	「心も体も元気で健康」	「高齢者を始めだれもがいきいきと活動できる」という表現は、高齢者が最優先される印象を受ける。⇒ 「子どもから高齢者まで誰もが元気にいきいきと活動できる」と修正してはどうか。※子供の居場所づくりは今後重要となる。(子ども食堂をはじめ)	指摘を踏まえ修正を検討する。	「子どもから高齢者まで誰もが元気にいきいきと活動できる…」と修正する。

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応
-----	------	-------	---------	-------

第3章 沼津が目指す将来都市像(合同部会)

P6	第3章 将来都市像 第4章 都市のかたち 第5章 まちづくりの柱	第3章の「目指す将来都市像」について、「仕掛けていくぞ」「これから動いていくぞ」「創っていくぞ」という前向きなスローガンを前面に出し、第4章・第5章の打ち出し方もそのような基調(トーン)で統一してはどうか。例えば、「目指す将来都市像」は、「動き出す 創り出す 躍動する沼津を目指して」ではどうか。	第2章のまちづくりの理念で、委員ご指摘のような今後の10年のまちづくりの前向きな考え方、意気込み、基本姿勢をまずは打ち出したいと考えている。 そして、第3章の将来都市像は、どのようなまちになるのか市民がイメージしやすいものにしたいと考えている。	修正なしとする。
P6	第3章 将来都市像	「人・まち・自然が調和し、躍動するまち」について、「人とまち」が「自然」と調和するか、三つ並列で問題ないか。	10年でまちが大きく動き出すが、単なるハード整備でなく、「人」に優しく「自然」を取り込んだまちづくりを考えている。「人と人」「人とまち」「人と自然」、それぞれが調和することを意識している。	修正なしとする。
P6	沼津が目指す将来都市像	”人を育てる”、”子どもが育つ”といった視点での表記が欲しいと思う	「人を育てる」「子どもが育つ」という視点は、上記で新たに盛り込んだ基本理念の部分とまちづくりの柱5の中で示したい。	修正なしとする。
P6	〔躍動するまちとは〕	「本市にしかできない、県東部地域を牽引する～」とあるが、「本市にしかできない」という表現は必要か。	この10年間で都市空間を再編する、またとない機会であることから記載したが、検討する。	指摘を踏まえ削除する。
P6	〔躍動するまちとは〕	「県東部地域を牽引する」とあるが、第4次総合計画からの表現であるため、単に踏襲するのではなく、牽引してきた事実や、その評価も踏まえて記載されたい。	観光や業務機能や産業の集積、広域交通網整備などを実施してきている。働く場の創出により、県東部地域から首都圏に若者が流れなくすることも本市の課題と捉えている。	指摘を踏まえ、「魅力的な都市空間の再編により、輝きを増すヒト中心のまち」に修正する。
P6	〔躍動するまちとは〕	「県東部地域を牽引する中心市街地を形成し…」⇒「県東部の拠点都市として人にやさしい中心市街地を形成し…」に修正してはどうか。	中心市街地の目指す方向は指摘のとおりだが、県東部の拠点都市として近隣市町の雇用等の受け皿ともなりうる活気と魅力にあふれる中心市街地をイメージして原案どおりとしたい。	修正なしとする。
P6	〔躍動するまちとは〕	将来都市像においては、交流人口についても大切と思われるので、記述を追加して欲しい。	追加を検討する。	「本市ならではの魅力を活かしたにぎわいや観光の創出などにより、沼津を愛する多くの人が集い楽しむまち」を加える。

第4章 目指す都市のかたち(合同部会)

P7	第4章 目指す都市のかたち 章名	章名をパッと見たときに「目指す将来都市像」の後の「都市のかたち」という表現に違和感を覚えた。	第4次総合計画にならい表現したが、検討する。	「目指す都市のかたち」に修正する。
P7 P8 P9	(1)安全・安心で多様性に富んだ持続可能なまちづくり	説明文とイメージ図は別ページが望ましい。「コミュニティが崩れることなく…」の表現は「活力を失うことなく」に修正してはどうか。 SDGsの考え方を意識すると「多様性に富んだ持続可能なまちづくりを進め」に修正してはどうか。	指摘を踏まえ修正を検討する。	別ページとして説明文は項目建てを行う。また、凡例の説明を「都市の構成要素」とした。「活力を失うことなく」、「多様性に富んだ持続可能なまちづくりを進めていきます。」に修正する。
P8	都市構造のイメージ	戸田は地域拠点になっているがふさわしいか。景観が優れた三浦地区も含めて交流拠点としての位置づけにしてはどうか。 また、交流レクリエーションゾーンなどの位置づけが可能かも検討願いたい。	指摘を踏まえ修正を検討する。	戸田は道の駅の整備により広域からの観光交流拠点が形成されていることから、交流拠点到に改める。 ゾーンは見送り、環境調和ゾーンでの文章表現を修正する。
P8	都市構造のイメージ	日常生活ゾーンの表現は違和感を覚えるため、表現を検討願いたい。	指摘を踏まえ修正を検討する。	市街地形成ゾーンに改める。

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応
-----	------	-------	---------	-------

第5章 まちづくりの柱1 自分らしいライフスタイルを実現できるまち(①元気・健康部会)

P10	①誰もがいきいきと輝き躍動できる場づくり	「シビックプライドを醸成」という部分について、もう少し「人を育てる」ということを強調した表現を望む。 (修正案) 未来を担う市民を育てていく中で、「沼津を愛し、誇りを持ち、自分自身に関わってまちを変えていく」というシビックプライドを醸成する	「人を育てる」という視点は柱5の部分で盛り込みたい。柱1の①の部分では、市民全体を見据えた表現としたい。	修正なしとする。
P10	①誰もがいきいきと輝き躍動できる場づくり	「シビックプライド」など、市民の皆さんに理解されていない可能性がある言葉については、市民の皆さんに分かりやすい言葉への言い換えや、注釈を検討してもらいたい。	他の箇所も含め、用語に関する注釈を記載することとする。	他の箇所も含め、用語に関する注釈を記載することとする。
P10	①誰もがいきいきと輝き躍動できる場づくり	「女性や高齢者の活躍」として、あえて女性と高齢者をここで明記している意図が分かりやすい表現にした方がよい。	指摘を踏まえ修正を検討する。	「より一層の社会進出が期待される女性や高齢者の活躍」に修正する。
P10	②多様性を認め合い尊重するまちづくり	障害者についての理解が進んでいない現状を踏まえ、「人間としての共生社会」という言葉をどこかに入れてほしい。 (部会長からの提案) 包摂型の社会、インクルーシブな社会	指摘を踏まえ修正を検討する。	「地域に暮らす全ての人々が、国籍、年齢、性別、障害の有無、価値観や文化の違いなどにかかわらず、お互いの人権を尊重し、個性を認め合いながら、安心してともに暮らすことができるよう、男女共同参画や多様な性の在り方に対する理解、多文化共生や国際交流などを推進し、差別なく一人ひとりを大切に共生社会の実現を図ります。また、仕事と家庭が充実し、健康で心豊かに暮らせるよう、～」に修正する。
P10	②多様性を認め合い尊重するまちづくり	「仕事と家庭の充実」の部分で、在住外国人に対する教育という視点が必要ではないか。	多様性を尊重した教育を推進することについては、原文の前段部分に含まれるという考え。また、外国人住民の方に対する教育については、柱5の教育に関する部分にも含まれる。	修正なしとする。
P10	③社会のつながりやコミュニティの強化	「コミュニティの維持及び活性化」については、今後10年でのコミュニティ組織自体の変化の可能性も含めた表現が良いのではないか。 (部会長からの提案) 地域に根ざした活力あるコミュニティの維持を図る	指摘を踏まえ修正を検討する。	「地域に根ざした活力あるコミュニティの維持を図る」に修正する。
P10	③社会のつながりやコミュニティの強化	「これからの成熟社会に対応するため」の「これからの」というのが、見方によっては、今までは未熟な社会だったのが、これから成熟した社会になっていくという意味に取られると感じる。分かりやすい表現に修正したほうが良いと思う。	すでに成熟社会に向かっており、精神的な豊かさや生活の質の向上が、これからさらに求められていくことについて、対応していくという考え。ご指摘を踏まえて修正案を検討する。	「これからの」を削除する。
P10	③社会のつながりやコミュニティの強化	「新たな活動」という部分が分かりにくい。障害者も含めたあらゆる人を含めた考えであることが分かるよう、「インクルーシブな活動」という表現が良いと思う。	包括的な「新たな活動」という表現で、ご指摘の視点も含んでいるという考え。具体的な施策展開については、基本計画の中で検討していきたい。	修正なしとする。
P10	③社会のつながりやコミュニティの強化	次につながるという意図を表現するため、「世代間交流」ではなく、「世代を超えたネットワークの構築」というような、ただの交流ではなく、いろんな世代の方たちと意思をつながらせてくようなものを構築させるという表現が良いと思う。	指摘を踏まえ修正を検討する。	「世代間の交流やネットワークの構築、新たな活動など」に修正する。

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応
-----	------	-------	---------	-------

第5章 まちづくりの柱2 ヒト中心で都市的魅力にあふれるまち(③快適・安心部会)

P11	リード文	「土地利用の適正化」という文言があるが、土地利用ができていない案件があるために記載しているのか。	中心市街地において、スポンジ化が進んでおり、平面駐車場や空き家等散在しているため、景観に配慮した土地利用をしていきたいと考えている。	
P11	①沼津駅周辺の整備	「鉄道施設跡地～都市拠点としての機能強化」は、沼津駅高架事業だけのことを意味しているのか。	鉄道高架事業だけでなく、沼津駅周辺総合整備事業によるものである。	市民からみると、沼津駅周辺の整備のメインは、鉄道高架事業であるので、「鉄道高架事業をはじめとする」を加える。
P11	①沼津駅周辺の整備	沼津駅前の地下道については、利用者に高齢者も多く、昇り降りが大変なため早急に対応した方が良い。	対応として駅前の地上横断帯が考えられるが、関係機関との協議しながら、対応していきたい。	
P11	①沼津駅周辺の整備	高架下を利用し、文化・教育・産業の発信拠点とする観点も加えてほしい。	指摘を踏まえ、文面及び基本計画の中で表現を検討していく。	修正なしとする。
P11	②都市骨格の構築とコンパクトなまちづくりの推進	市街地のスポンジ化が進むのが良くないのであって、「コンパクトなまち」だけだと、市街地が縮むような誤解を招く恐れがある。「コンパクト・プラス・ネットワーク」というフレーズの方が良いのではないのか。	指摘を踏まえて修正を検討する。	表題を「コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりの推進」に修正する。
P11	②都市骨格の構築とコンパクトなまちづくりの推進	必ずしも都市的居住圏が立地誘導する場所ではない。都市機能の立地誘導と書いてあるが、住宅地の立地誘導について書いてないのはなぜか。	都市機能の立地誘導については行政においてできることとして書いてあるが、住宅地の立地誘導については、市が都市機能を誘導するなかで、そちらに住みたいという意識が進むような公共施設等の誘導を進めるという意味合いを込めている。	
P11	②都市骨格の構築とコンパクトなまちづくりの推進	バスターミナルの整理や、バス待ち環境の改善、ダイヤ改正は、公共交通ネットワークの再編に含められるか？含むのであれば、言葉を検討した方が良いのではないのか。	バスターミナルの整理や、バス待ち環境の改善、ダイヤ改正の他、沼津駅から放射状に伸びる路線の再編・集約、終バス以降のタクシーの活用なども公共交通ネットワークの再編に含む。	原案通りとし、具体的な事業に関しては、基本計画、推進計画での記載を検討する。
P11	②都市骨格の構築とコンパクトなまちづくりの推進	公共交通の前に、「快適」の表現を入れるのはどうか？例えば、バスレーンの設置(PTPS:公共車両優先システム)、優先信号制御を行うことやLRT計画などが考えられる。	指摘を踏まえ、文面及び基本計画の中で表現を検討していく。	修正なしとする。
P11	③既存ストックの活用	アーケードなどでの空き店舗に出店した場合への補助について、実施予定があるのであれば、文言を入れた方が良いのではないのか。	H28年度より民間支援まちづくりファンド事業において、まちづくりに資する施設整備等を対象とした支援を行っている。	具体的な事業に関しては、基本計画、推進計画での記載を検討する。
P11	③既存ストックの活用	リノベーションまちづくりが始まって4年間で、30件くらいの実績があると伺っているが、そのことをもっと前面に出せば、リノベーションを考える人が増えると思う。ただ、実施後、自立した事業として継続することが重要であると思う。	初期投資をなるべく抑えることなどで、継続性を持った取組みとなるよう推進していきたい。	
P11	④快適な住環境の整備	定住の促進に向けた新たな住宅地の創出とあるのは、岡宮北土地区画整理事業のことだと思うが、これから、当該事業以外で新しい住宅地を創る、開発することが難しいと思うので、表現は、過去形や現在進行形にした方がいいと思う。	岡宮北土地区画整理事業や、それ以外に中心市街地のスポンジ化の集約による新たな居住空間の創出も考えられるため、修正案を検討する。	「まちづくりを推進します。また、定住の促進に向けた快適な住環境の創出を図る」に修正する。具体的な事業に関しては、基本計画の中で検討していく。
P11	⑤居心地よく質の高い都市空間づくり	鉄道高架に伴う鉄道跡地について、公園整備も検討してほしいと思う。また、高架下を保育園などに活用する等、若い人に利用できるようなものにしてほしい。	市民が活用しやすい施設が設けることができると考えている。公園などの緑化空間の配置も含め、鉄道跡地の利用を検討していく。	

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応
P11	⑤居心地よく質の高い都市空間づくり	沼津駅周辺の緑化については、高齢者の方が花壇の世話をしてくれていた(大手町の交差点など)が、現在は行われていないようだが。	高架後の駅前広場などには、緑化空間を配置できるように検討したい。また、緑化の取組については、地元と調整しながら再開できるか検討していきたい。	
P11	⑤居心地よく質の高い都市空間づくり	「まちのシンボルとなるような場所の緑化」と追記してもよいのでは。	緑の保全や緑化については、沼津市全体で取組むことで、美しいまちづくりにつながると考えている。	原案通りとし、具体的な事業に関しては、基本計画、推進計画での記載を検討する。
P11	⑤居心地よく質の高い都市空間づくり	「緑化の推進」の後に、「水辺の環境・水質の保全」を追加してはどうか。	水辺の環境・水質の保全については、沼津市全体の自然環境として取組むべき事柄であると考えている。	水辺の環境を含んだ自然環境や水質の保全については、柱8で記載する。

第5章 まちづくりの柱3 力強い産業を牽引するまち(②産業・観光部会)

P12	柱3全般について	子どもがいきいきと働きたいと思えるまち、産業づくり・会社づくりがリード文で示せると良い。リード文に生活者視点まで落とし込まれた柔らかい言葉で表現できれば、最後まで読んでもらえる。	指摘を踏まえて修正を検討する。	「若者や子どもたちがいきいきと働きたいと思えるまち」を追記する。
P12	リード文	全ての産業の連携や融合について、リード文で述べてほしい。	指摘を踏まえて修正を検討する。	「異業種間の交流や連携の促進」を追記する。
P12	①商業の振興	個店も大事だが、商店街は存続の危機にあり、日常生活と密接な存在となるなど、あり方についてどう考えていくかが重要である。 商店街は、顧客層の変化に伴い新しい価値や機能が求められており、位置づけを変更する必要がある。	指摘を踏まえて修正を検討する。	「日常生活空間として楽しめる」商店街のにぎわいづくりに修正する。
P12	①商業の振興	商業は、単独ではなく、文化や観光との連携や、回遊性・ライフスタイル等を考慮して活性化を図ることが重要である。	今後の施策を推進する上で参考とする。	
P12	②工業の振興	地元企業の育成が大事であるが、外からの刺激として企業誘致も必要である。そして、地元の中小企業と大企業をつなぐコミュニティの構築が重要である。	地元企業の育成について、指摘を踏まえて修正を検討する。 コミュニティの構築については、リード文への修正を検討する。	「企業誘致・定着」の推進に修正する。 リード文において、「異業種間の交流や連携の促進」を追記する。
P12	②工業の振興	市内企業の技術力や開発力・販売力をどう活かせるか、どの分野に力を入れるか、工業の方向性を示す必要がある(ファルマバレー、航空産業、自動運転バスなど)。	今後の施策を推進する上で参考とする。	
P12	②工業の振興	工業は、早いスピードで変革が求められる分野と感じる。技術力を活かして新たな展開を図る第2創業の視点が重要であり、文章に加えてほしい。 モノを作っても売れないことが多いので、中小企業の出口戦略的な部分が記載できるとよい。	指摘を踏まえて修正を検討する。	「新たな事業展開」を図る取組の支援を追記する。
P12	②工業の振興	理系分野の子どもを育成するまちがないので、基本の方向で示せるとよいのでは。	⑤「高度人材などの育成」に包括されていると捉え、今後の施策を推進する上で参考とする。	修正なしとする。
P12	③農林水産業の振興	地域商社の考え方を取り入れたい。生産者だけでは出口(販路)戦略を描くことが困難であり、プロフェッショナル集団の構築が必要となる。地域のチームワークなど総合力で物産品を販売していくという力強さを出したい。	指摘を踏まえて修正を検討する。	「地域の総合力で」推進し、を追記する。 上記を全体に修飾するため、本文を修正する。

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応
P12	④新たな産業の創出	この地域の持つネジ等の技術力を総合的に活かすため、専門家の助言を得て産業の方向性を意識的に行政が示唆しないと、動きが出ない。沼津らしさを出すべきではないか。工業振興の色が強い文章だが、全産業に通じるものであり、タチバナの医薬品としての活用など沼津らしい新たな観点での産業を加えることが重要である。	指摘を踏まえて修正を検討する。	「沼津ならではの産業を活かした」異業種連携等による～を追記する。
P12	⑤労働人材の確保と育成	中小企業の事業承継は親子が多く、感情面のトラブルもあるので、間に入って調整する存在が重要である。会計事務所に相談することが多いが、地域に根差した金融機関の果たす役割は大きい。「事業承継の推進」という表現のみだと市として何をやっていくか具体的に見えない。金融機関のノウハウをフル活用してもらいたい。事業承継の当事者に問題意識を持ってもらうことが課題であり、商工会議所や金融機関に相談できることを総合計画に示すことは周知につながる。事業承継の推進に「関係機関との連携」を加えることが必要である。	指摘を踏まえて修正を検討する。具体的な取組については、今後の施策を推進する上で参考とする。	「関係機関と連携して」を追記する。
P12	⑤労働人材の確保と育成	文言はこれで良いが、高校の多さなど沼津の特徴をとらえた雇用政策が必要である。沼津高専や技術専門学校などの卒業生が、地元で働く仕組みを構築してもらいたい。高校においては市外からの流入が多いのに、卒業とともに市外へ出て戻ってこないという沼津の課題をどうするか、高校生と地元企業とのつながりを深める事業など、特色を出してほしい。	「学生の地元企業への就職の促進を図る」に含まれていると捉え、今後の施策を推進する上で参考とする。	修正なしとする。
P12	⑤労働人材の確保と育成	生産人口の減少が課題であり、高校生の地元への愛着や誇りを醸成するとともに、女性の働きやすい環境づくりも大切である。「潜在的労働力」という表現は、10年後にジェンダ一格差と指摘される恐れがある。生産人口を沼津ならではのやり方で増やすことが示されると良い。	「潜在的労働力」については、指摘を踏まえて修正を検討する。「沼津ならではのやり方」については、基本計画の中で検討していきたい。	「潜在的な労働力を掘り起こし」に修正する。

第5章 まちづくりの柱4 地域の宝を活かすまち(②産業・観光部会)

P13	①沼津の魅力の発信	人、海山川、おもてなし、人の笑いなどキーワードが入ってくると良いと感じた。	リード文や基本理念などで記載しているところである。	修正なしとする。
P13	①沼津の魅力の発信	高校卒業とともに外へ出ていくことが多いならば、出ていく人をプロモーションに活用すると効果的である。そのためには、先ず市民に沼津を好きになってもらうことが必要である。さまざまな取組を実施しているが、まだ市民に十分に伝わっていないと感じる。出ていく人を上手く活用することは非常に良いアイデアで、発信力の向上につながる。	「SNS等の活用による多様な情報発信」に含まれていると捉え、今後の施策を推進する上で参考とする。	修正なしとし、②地域資源の創造と磨き上げにおいて、インナープロモーションの考え方を追記する。
P13	②地域資源の創造と磨き上げ	インナープロモーションという沼津市民が沼津の宝を自覚する、知る、認めることを入れてもらいたい。	指摘を踏まえて修正を検討する。	「市民一人ひとりがその価値を認識し、地域の宝とするよう、インナープロモーションを推進し」を追記する。
P13	②地域資源の創造と磨き上げ	「誇るべき地域資源」の中に、市民生活の中で培ってきた日常の文化が入ってくると良い。現状では bar 文化や干物、戸田塩などが連想しにくいので、「市民生活から発生した」などの表現を加えることを検討してほしい。「市民文化」という言葉がほしい。日常を魅力ある宝と認識していない市民が多く、意識変換が難しいと感じている。また、興味のない人にどう伝えるかが難しく、関わる人を増やしていくことが重要と考える。	指摘を踏まえて修正を検討する。	「日常から生まれる生活文化」を追記する。

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応
P13	③沼津ならではの観光	コンベンションまたは MICE、どちらの表現が良いか検討してほしい。	指摘を踏まえて修正を検討する。	「MICE」誘致に修正する。
P13	③沼津ならではの観光	スポーツ、歴史文化、地域資源等の間に、「産業」を加えると良い。観光には1次、2次、3次全ての産業が関わってくる。	指摘を踏まえて修正を検討する。	「産業」を追記する。
P13	④インバウンド施策の推進	「体験型観光など」具体的な情報発信や白隠禅師といった歴史文化などのテーマで集約した施設整備、外国人向けの夜のにぎわいづくり、体験型の文化紹介施設などの視点も考慮してほしい。 「地域資源を活用した国籍ごとまたはマーケットごとを意識した情報発信に努める」で一文とし、後半は多言語表記や円滑なコミュニケーションなどインバウンド対応でまとめるとバランスが良い。	指摘を踏まえて修正を検討する。	「魅力ある体験型観光など」を追記する。 情報発信についてまとめた一文「また、それぞれのお国柄や地域に合わせてマーケットを意識した情報発信に努めます。」を追記する。
P13	⑤移住・定住の推進	・誰が沼津をどのように魅力に感じているか調査し、どこをターゲットに施策を打ち出すか、前衛的な姿勢、「戦略」を示せると良い。 ・マーケティングや他地域との差別化といった考え方を組み込めると良い。	指摘を踏まえて修正を検討する。	「首都圏等に向けて」を追記する。

第5章 まちづくりの柱5 安心して子どもを産み育てられるまち(①元気・健康部会)

P14	リード文	「人材」ではなく、例えば、「地域を支える意欲を持った市民になれるよう」という表現が良いと思う。	指摘を踏まえ修正を検討する。	「地域を支える意欲のある市民となれるよう」に修正する。
P14	①安心して産み育てるための支援	「多様な悩みを抱える子どもや保護者への支援」だけではなく、「様々な交流や支援」という形で、障害者だけをまとめるのではなく、いろんな人たちとの交流の場を広げていくという表現がよいと思う。	指摘を踏まえ修正を検討する。	「多様な悩みを抱える子どもや保護者の様々な交流の場の創出などの支援」に修正する。
P14	①安心して産み育てるための支援	保護者同士が助け合う、支え合うというようなことが言葉を入れてほしい。 (部会長からの提案) 孤立化した子育てを防止し、多様な悩みを抱える～	指摘を踏まえ修正を検討する。	「孤立化した子育てを防止、子育て世代の不安や～」に修正する。
P14	②仕事と子育ての両立支援	放課後児童クラブとか子育て支援センターは、すでにあるが、それ以外の子どもの居場所、そういったことが新たなニーズとして出てきているので、そこを明記して欲しい。 (部会長からの提案) 放課後児童クラブや子育て支援センターなど、子どもが安心して過ごすことのできる、様々な場の充実に努めます (他の委員からの提案) 放課後児童クラブや子育て支援センターなどをはじめとする子どもが安心して過ごすことのできる場の充実に努めます。	指摘を踏まえ修正を検討する。	「放課後児童クラブや子育て支援センターなどをはじめとする子どもが安心して過ごすことのできる場の充実に努めます」に修正する。
P14	③みんなで支える子育て	外国籍の子どもがとて増え、子どもの家庭生活がなかなか安定しないところの支援を要望する声がある。「少子化や家族形態の多様化や外国籍家庭(または外国人家庭)の増加が進む中」というような形で表現してもらいたい。 (部会長からの提案) 少子化や家族形態の多様化、国際化	指摘を踏まえ修正を検討する。	「少子化や家族形態の多様化、国際化など」に修正する。
P14	③みんなで支える子育て	「職場における」というところを、職場環境や労働環境の改革・改善という視点で、「職場環境の改善や職場における子育てに対する理解の促進を図る」というような表現で検討してもらいたい。	指摘を踏まえ修正を検討する。	「職場における子育てに対する理解や職場環境の改善の促進を図る」に修正する。
P14	④未来を担う人材の育成	「人材」について、「市民」などの表現への言い換えを検討してほしい。	指摘を踏まえ修正をする。	「未来を担う人づくり」に修正する。

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応
P14	④未来を担う人材の育成	「確かな知性、知力」について、「確かな知性と豊かな感性」という表現が良いと思う。	指摘を踏まえ修正を検討する。	「確かな知性と豊かな感性」に修正する。
P14	④未来を担う人材の育成	学校教育における「地域との連携」という視点を盛り込んでほしい。	学校教育における「地域との連携」の視点については、リード文、施策項目⑤及び本項の「特色ある学校教育」に含まれるものとするが、ご指摘を踏まえ、後段の連携の部分で修正を加える。 また、本修正に合わせて「特色ある学校教育」の「ICTの活用」という例示を削除し、「特色ある学校教育」として「地域との連携」なども含めた具体的な施策として基本計画・推進計画で盛り込んでいく整理であることを明らかにする。	「ICTの活用を始めとする」を削除する。 「幼児教育と学校教育との連携に加え、更にこれらと地域や家庭との連携を促進する」に修正する。
P14	④未来を担う人材の育成	・「豊かな人間性」という部分について、「穏やかな人間性」とか、「あたたかな人間性」というような分かりやすい表現が良いと思う。 ・多様性を認め合う、尊重するという中で、「お互いを認め合うあたたかな人間性」というような表現が良いと思う。 (修正案) お互いを認め合うあたたかな人間性	指摘を踏まえ修正を検討する。	「お互いを認め合う温かな人間性」に修正する。
P14	④未来を担う人材の育成	インクルーシブ教育の推進という視点を盛り込んでほしい。	「特色ある学校教育」の具体的な施策として、基本計画の中で検討していきたい。	修正なしとする。
P14	④未来を担う人材の育成	「家庭教育、幼児教育及び学校教育の連携を促進」について、前段での地域との連携という視点についての議論も踏まえ、例えば「幼児教育と学校教育の連携及び学校教育と地域や家庭との連携」というような表現が良いと思う。	指摘を踏まえ修正を検討する。	「幼児教育と学校教育との連携に加え、更にこれらと地域や家庭との連携を促進するとともに充実に努めます」に修正する。
P14	⑤地域を支える人づくり	・「地元愛」ではなく「郷土愛」という表現が良いと思う。 ・柱1でのフレーズを活かし、「地元愛」のところで「誇り」という表現を使った方が良いと思う。 (修正案) 郷土への誇りや郷土愛	指摘を踏まえ修正を検討する。	「郷土への誇りと愛着」に修正する。
P14	⑤地域を支える人づくり	近年、引きこもりや不登校が増えており、社会とのかかわりが少なくなっていることから、早い段階での予防や問題解決の取り組みがあるとよいと思う。	具体的な施策として、基本計画の中で検討していきたい。	修正なしとする。
P14	⑤地域を支える人づくり	・「人材」について、「市民」などの表現への言い換えを検討してほしい。 ・「地域に貢献できる人材」については、自分のまちが好きになり、そのまちをどうしていくかということを考えられる人材というような視点での表現が良いと思う。 (部会長提案) 地域で多様な活躍ができる市民	ご指摘を踏まえて修正案を検討する。 (リード文の「あらゆる分野で活躍できる、そして地域を支える意欲のある市民」と整合を図る。)	「地域社会を支え活躍できる市民」に修正する。

第5章 まちづくりの柱6 笑顔があふれ健康で心豊かに暮らせるまち(①元気・健康部会)

P15	①スポーツ・芸術文化の振興	障害や性別に関係なく誰でも使えるなどのユニバーサルデザインなどの考えをしっかりと取り入れた施設の建設をしてほしい。	具体的な施策として、基本計画の中で検討していきたい。	修正なしとする。
P15	①スポーツ・芸術文化の振興	「市民の自主的な芸術文化活動」について、特定の価値観による偏りが生じることがないように、「市民の自主的で多様な芸術文化活動」という表現にしてもらいたい。	指摘を踏まえ修正を検討する。	「市民の自主的で多様な芸術文化活動」に修正する。

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応
P15	②健康長寿の推進	健康寿命という表現では狭くなってしまうため、広く「健康長寿の推進」ではどうか。	指摘を踏まえて修正する。	②「健康長寿の推進」に修正する。
P15	②健康長寿の推進	「心身ともに健康で明るく元気に暮らすことができる」について、もっと前向きな表現となるよう、「心身ともに健康で明るく自分らしく活躍できる」という表現が良いと思う。	本項は健康づくりに特化した記述としたため、原案どおりの表現としたい。ご指摘の「自分らしい活躍」については、柱1の①「誰もが自分らしく活躍できるまちを目指し」の部分に含まれるとともに、高齢者の活躍に関しては柱6の③に含まれると考える。	修正なしとする。
P15	③高齢者に優しいまちづくり	「高齢者の生きがいづくりや居場所づくり、高齢者の社会参画」について、「高齢者の生きがいづくりや居場所づくり、社会参画」という表現が良いと思う。	指摘を踏まえ修正を検討する。	「高齢者の生きがいづくりや居場所づくり、社会参画」に修正する。
P15	③高齢者に優しいまちづくり	「安心して過ごせるよう」について、柱のフレーズを活かし、「心豊かに過ごせるよう」という表現が良いと思う。 (部会長提案) 安心して心豊かに過ごせるよう	指摘を踏まえ修正を検討する。	「安心して心豊かに過ごせるよう」に修正する。
P15	③高齢者に優しいまちづくり	「フレイル」や柱5の④の部分の「ICT」など、市民に馴染みがないと思われる言葉については、注釈を検討してもらいたい。	他の箇所も含め、用語に関する注釈を記載することとする。	他の箇所も含め、用語に関する注釈を記載することとする。
P15	④誰もが暮らしやすいまちづくり	・「障害のある人の就労の場の確保」の追加 ・「障害のあるひとの高齢化への対応の充実」の追加	④の「誰もが暮らしやすいまちづくり」の中に含まれていると考えている。	施策については基本計画で検討していく。
P15	④誰もが暮らしやすいまちづくり	「障害のある人の雇用・就業機会の拡充」について、「就学」も含めた機会の拡充が必要だと思う。 (修正案) 障害のある人の就学・雇用・就業の機会の拡充	指摘を踏まえ修正を検討する。	障害のある人の視点からの記載として「雇用」は削り、「障害のある人の就学・就業機会の拡充」に修正する。
P15	④誰もが暮らしやすいまちづくり	・「障害のある人の雇用」の部分で、合理的配慮ということを意識してほしい。 ・沼津市として特別な配慮を必要とする子どもたちにも学ぶ機会をこういう形でつくっている、というのが施策の中で出てくると良いと思う。	具体的な施策として、基本計画の中で検討していきたい。	修正なしとする。
P15	④誰もが暮らしやすいまちづくり	障害者の自立生活を支援するサービスや拠点が欲しいと考えるので、これを踏まえた表現を入れ込んでほしい。 (部会長提案) 「生活等の支援体制の充実」ということの具体的な取り組みの視点として、検討してもらいたい。	具体的な施策として、基本計画の中で検討していきたい。	修正なしとする。
P15	④誰もが暮らしやすいまちづくり	「地域福祉活動」では、少しわかりづらいか。 「市民が支え合う地域福祉活動の推進」ではどうか。	ボランティアなどについてはまちづくりの柱1③にも記載していきたいが、文面にする上では指摘を踏まえて検討する。	「市民が支え合う地域福祉活動の推進…」に修正する。

第5章 まちづくりの柱7 安全・安心のまち(③快適・安心部会)

P16	リード文	大規模災害時では、市だけでは対応できないことが多いため、国や県など関係機関との連携が非常に重要になってくる。①の項目の中にも連携について書いてあるが、リード文のなかにも、関係機関との連携に関する文言を入れた方が良いのではないか。	委員ご指摘のとおり、関係機関との連携は重要であると認識している。 指摘を踏まえて修正を検討する。	「このため、国や県をはじめとする関係機関との連携を図りながら、これらの災害や犯罪、事故などの危機事象から、…」リード文に追記する。
P16	まちづくりの柱7 ①災害に強いまちづくり	災害に強いまちづくりに記載されているが、「地球が危機的な状況に陥っており、生命財産にかかわる」というような表現が欲しいと感じた。もっと危機感を表現し、それから守るために安全安心の施策を行う旨を記載できないか。	指摘を踏まえて修正を検討する。	リード文を「地震や津波、洪水など、近年多発している大規模な自然災害や、高齢者の消費生活トラブル、交通事故などは、市民生活に不安を与えています。」に改める。

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応
P16	①災害に強いまちづくり	集中豪雨について記載があるが、最近の気候変動を考えると、風の被害対策についても書いておくべきではないか。	指摘を踏まえて修正を検討する。	「気候変動の影響等による風水害等を踏まえた治水・治山・対策など、災害対策の推進に努めます。」に修正する。
P16	①災害に強いまちづくり	文章内に固有名詞が入っており、具体すぎると思う。また、災害時には医療機関との連携も重要だと思うので、どこかに読み取れるような文言があればと思う。	指摘を踏まえて修正を検討する。医療機関については、関係機関に含まれるという考えである。	「関係機関との円滑な連携など、様々な防災の取組」に修正する。
P16	②強靱な地域づくり	「また、災害への対応力のあるまちを構築」とあるが、まちを構築では少し言い過ぎだと思われるので、「災害への対応力を強化するため」とした方がいいのではないか。	指摘を踏まえて修正を検討する。	「災害への対応力を強化するため…」に修正する。
P16	②強靱な地域づくり	基本構想の文章だと「民間事業者のBCP対策」は具体的すぎると思う。	「民間事業者のBCP対策」については、基本計画、推進計画での記載を検討する。被災後の復旧に対する文言については、修正を検討する。	「直近の自然災害等からの知見を反映した防災・減災・復旧対策を推進します。」に修正する。
P16	②強靱な地域づくり	災害への準備段階で、項目①、②、③があるかと思うが、最近では、想定外の災害が起こっていると思うので、被災後の迅速な復旧に対する意味合いを入れた方がいいのではないか。		
P16	③自主防災力の向上	防災教育のようなソフト事業については、もっと力をいれて行い、人的被害を最小限にしないといけないと思う。「防災教育の推進」をより強い表現にしたらどうか。	指摘を踏まえて修正を検討する。	「防災教育を徹底し、防災意識の向上を図ります。」に修正する。
P16	④市民の安全・安心の確保	「市内における犯罪」とあるが、「市内における」はなくてもよいのでは。また、消費トラブルにおいては、防止だけではなくトラブルに巻き込まれてしまった人へのサポートも必要なのではないか。	指摘を踏まえ、「市内における」は削除する。また、消費生活のトラブルについては、サポートの意味合いを込める必要があることから、修正を検討する。	「…地域、警察、行政などが連携して、地域の防犯活動の推進や市民の防犯意識の向上に努め、犯罪の未然防止を図ります。また、複雑多様化する消費生活におけるトラブルの防止対策等を推進するとともに…」に修正する。
P16	④市民の安全・安心の確保	感染症についての記載があるが、熱中症も近年クローズアップされているので記載について検討したらどうか。	指摘を踏まえて修正を検討する。	「感染症や熱中症、外来危険生物など市民の生命や生活を脅かす危機事象…」に修正する。
P16	⑤安全で快適な交通社会	高齢運転者の交通事故はどのように防止するのか、また、利用環境の整備はどのようなものがあるのか。	運転講習などの交通事故防止対策やバス待ち環境の改善などの利用環境の整備があると思うが、具体的な記載に関しては、基本計画で検討する。	
P16	⑤安全で快適な交通社会	「歩行者や自転車利用者の安全に配慮した道路の整備」を「自歩道の整備」としてはどうか。	安全に配慮した道路の整備の一つの考え方と思われる。	原案どおりとし、安全確保のための具体的な事業に関しては、基本計画、推進計画での記載を検討する。

第5章 まちづくりの柱8 環境と共生する持続可能なまち(③快適・安心部会)

P17	表題	「持続可能な環境と共生するまち」ならわかるが、表題に違和感を覚えた。リード文において喫緊の課題として環境対策を実施していく表現を強く出して欲しい。	指摘を踏まえて修正を検討する。	リード文に合わせ、「環境と共生する持続可能なまち」に修正する。
P17	項目の順番	柱8の項目の順番については、なにか意図があるのか。②環境への負荷低減、④資源循環型のまちづくり、①自然共生型のまちづくり、③良質な水資源の確保、という順番の方がよいのでは。	4次総では、環境に配慮するということを進めているが、5次総では、環境のために行動するということを盛り込みたいと考えているため、1番目に自然共生の項目を置いた。委員のご指摘を受けたので、項目の順番については検討する。	項目の順番を、①環境への負荷低減、②資源循環型のまちづくり、③自然共生型のまちづくり、⑤良質な水資源の確保に修正する。

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応
P17	①環境への負荷の低減	二酸化炭素の排出量では、事業活動が一番排出しているの で、はじめに記載(追記)した方がいいと思う。	指摘を踏まえて修正を検討する。	「地球環境への負荷低減を図るため、環境に配慮した事業活動の推進に努めます。また、公共交通や自転車など、環境に優しい交通手段の利用促進に努めるとともに、…」に修正する。
P17	②資源循環型のまちづくり	ごみの焼却時に発生する余熱の有効利用を図るなど、新しい技術を活用した」とあるが、燃やさないごみ処理など様々な処理方法があるので、幅を持たず意味合い で、余熱の有効利用まで書かなくてもよいのではないか。	指摘を踏まえて修正を検討する。また、環境美化については、環境を大切にする人づくりにつながるため、「環境を大切にする人づくり」に記載する。	「また、ごみ処理については、新たな技術の活用などによる資源循環も見据えた安全で環境負荷の少ない施設整備を進めます。」に修正する。
P17	③自然共生型のまちづくり	「かけがえのない自然環境」だと漠然としているため、沼津市には特有の自然環境があるので、「本市特有の自然環境」にした方がいいと思う。	指摘を踏まえて修正を検討する。	「本市特有の自然環境…」に修正する。
P17	③自然共生型のまちづくり	「地域資源として活用する」という表現があるが、観光資源としての活用のように感じるため、少し表現を検討したかどうか。	指摘を踏まえ表現を検討する。	「生態系からの恵みを持続的に享受し活用する社会に向けた取り組みを推進します。」に修正する。
P17	③自然共生型のまちづくり	「環境学習などを通じて～人材の育成を図ります」については、項目を一つ作るか、環境分野の全体にかかってくるためリード文にあった方がいいと思う。	環境のために行動できる人材育成を図っていきたいと考えているので、リード文への追記を検討する。また、人材育成の観点についての項目を検討する。	リード文を「協働して取り組むとともに、環境を大切にする人づくりを推進し、…」に修正する。また、「④環境を大切にする人づくり」を新たに項目建てる。文案は別紙修正案のとおり。
P17	⑤良質な水資源の確保と安定供給	文章に対して、表題の内容が狭い印象を受ける。また、もう少し環境のことも書かないと、事業の話になってしまう。どちらかというと、アセットマネジメントに近い話になっており、柱8に馴染まない感じがする。水質保全、水循環というところを前面に出して書いた方がいい。	文章後半は、水質保全についての記載なので、表題を修正する。また、委員の指摘を踏まえ、内容を修正する。	表題を「確保と水質保全」に改める。また、文面について「本市の良質な水資源を確保するため、水源の保全、周辺市町等と連携した地下水の適正利用や汚染防止などに努めます。また、河川や海の水質保全のため、地域特性を踏まえた生活排水処理や事業活動等により生ずる排水の適正処理を推進します。」に修正する。 上水道施設の更新等については、柱7 安全・安心のまち ② 強靱な地域づくり の「戦略的なインフラマネジメント、公共施設等の耐震化」の記載で対応する。